

## 令和4年度第2回山形市男女共同参画審議会会議録

日 時 令和4年12月14日（水）午後2時～午後3時30分  
場 所 山形市男女共同参画センター（ファーラ）5階  
視聴覚室・研修室2

### I 出席者

- 1 委員（9名） 井上榮子委員、鈴木雅史委員、田中委員、沼沢委員、成田委員、井上賢一委員  
菅野委員、塩野委員、高見委員  
※欠席委員（6名） 上條委員、鈴木肇子委員、鈴木由美子委員、海老名委員、武田委員、  
丹野委員
- 2 幹事（2名） 畑口企画調整部長、高橋男女共同参画センター所長
- 3 書記（3名） 古内副所長、五十嵐主幹、庄司主査
- 4 運営事務員（1名） 沼沢事務員

### II 傍聴者

- 1 一般傍聴者 0名
- 2 傍聴した記者 0名

### III 会 議

- 1 開会 五十嵐主幹
- 2 企画調整部長あいさつ 畑口企画調整部長
- 3 報告

#### (1) 第3次「いきいき山形男女共同参画プラン」（以下「第3次プラン」）

令和3年度進捗状況報告及び総括について（資料1）

資料に基づき古内副所長が説明

（主な質疑等）

- |    |  |
|----|--|
| 会長 | 資料1については、昨年度、第4次プラン策定時にご了承いただいた総括に、今年度第1回審議会でご了承いただいた令和3年度の数値に直したもので、了承を頂いてきたというような受け止め方で進めたいが、いかがか。 |
| 委員 | 10ページの下から11ページ、女性の管理職の割合が12.6%と低いのは、部長・課長相当職が少ないということだと思うが、それに比べると係長相当職は33.9%と高い。係長から増えない原因はなにか。     |
| 幹事 | 市職員の場合、現在の課長になる年代では男性職員に比べて女性職員の絶対数が少ない。   |

係長級の年代から女性職員も増え、若いほど男性と女性の数が近づいてきている。さらに最近、係長になる年代の女性が、係長になるのをためらわず力を発揮してもらうための研修を行うなど、管理職前のいわゆるミドルリーダーの養成にも力を入れている。時間はかかるが、今後、徐々に女性管理職が増えていくと思われる。

会長 女性職員が課長のほうに上がることを是非、後押ししていただきたい。ほかにかがが。

委員 質問だが、同11ページの「第3期あったか家族応援プログラム」とは何か。

幹事 おおまかな内容は、国の方針に基づき市役所自体が一つの事業所として、女性のみならず男性の育休取得など、職員やその上司を含む全職員のワークライフバランスについて応援するプログラムとなっている。現在、令和6年度までの目標値を定め運用している。

会長 第4次プランにも引き継がれている事業がたくさんあるので、第3次プランについては、以上でよろしいか。

委員一同 (了承)

(2) 第4次「いきいき山形男女共同参画プラン」(以下「第4次プラン」)の推進について(資料2)資料に基づき高橋所長が説明。

(主な質疑等)

会長 事務局からは、今年度からの新規の取り組みを中心に説明があった。第1回審議会で説明のあった事業もある。

次第の(3)と(4)に係る部分は除いて、質問や意見ないか。

委員 最後に説明のあった生理用品の配布について、まだ浸透していないため、知らない人が多いのではないかと思う。市報だけでなく、いろんな周知の方法を考えていただきたい。もしかすると、市内でもフェアラのことを知らない人がいたり、ひとり親の方など来所が難しい人もいるのかと思うので、そのようなところもうまく考えていただけたらと思う。

幹事 周知がうまくできているか課題である。広報やまがた、ホームページに掲載したところ、ご覧になった方が来所した。ホームページも自分から見ようとしないと情報に届かないので、もっと簡易で効果的な手法がないか工夫したい。配布場所は、検討した結果、現在はフェアラ内としている。県立図書館などの県有施設でも配布をしているので、どのような場所で、どのような配布方法が良いのか、参考にしながら今後検討していきたい。

会長 学校やPTAで話題になったり、情報があつたりしないか。

幹事 学校ではトイレや保健室に配置しており、相談もできる。大人の方については、配布場所や相談窓口を知ってもらうだけで安心の材料になると思うので、今後も広く周知できる効果的な方法を考えていきたい。

委員 例えば、情報が掲載されたカードやリーフレットなどがあると、2月にあるPTAの母親委員会などでもお知らせできるかと思う。

幹事	周知についてご協力していただけるのは、大変ありがたい。
委員	学校では、保健室に子どもたちが取りに来る方法だったが、教育委員会の指導で、今は全ての小中学校でトイレに設置するようになっている。山形市内の学校も同様と思うので、子どもたちが気兼ねなく持って行けるよう配慮している。
会長	また、最後の「性の多様性に関する実態把握」について、既に聴き取りされたというが、どのくらいの方にお聴きしたのか、少し補足いただきたい。
委員	現在、当事者とそのご家族の方を含めて5名の聴き取りを終えた。その立場にならないと知りえない悩みをお聴きするなど、大変貴重な機会となっている。今後も継続して、なるべく多くの方の声を聴く機会を設けていきたいと考えている。
会長	今年10月、山形市で初めてのレインボーパレードが実施された。多様な性が認められる社会の実現に向けて、今後是非進めていただきたい。 第4次プランの今年度分の進捗状況については、来年度に報告していただく。 皆様方から他になれば、報告(2)は以上でよろしいか。
委員一同	(了承)

### (3) 審議会等委員への女性参画の推進について (資料3)

資料に基づき高橋所長が説明。

#### (主な質疑等)

会長	説明について質問・意見はないか。すでに推進本部の決定事項ということでご報告いただいたが、具体的にはどれくらいまで進んでいる段階か。
幹事	推進本部で決定したのが11月であり、間もなく全庁へ周知する段階。次回審議会で今年度末の状況について、数値をお見せできるかと思う。 資料4ページ最後の行、「改選時期の1ヶ月前まで」ではなく「改選後1ヶ月以内」の誤りのため訂正を願う。
会長	難しい目標を達成するための具体的手だてになると思う。ほかにかがが。
委員	各審議会から山形県弁護士会に委員の推薦依頼をいただく場合に、できれば女性委員をと依頼している審議会と、特に指定のない審議会があるが、各審議会の判断に委ねられているのか。市の方針として、女性を推薦いただきたいとするのか、オープン推薦のようにするのか、統一されていないような気がするので、教えていただきたい。
幹事	これまでも、全庁的な取組みとして全ての審議会で統一していたはずだが、徹底されていなかったのかと思う。今後はきちんと全庁的に周知をして、関係団体の皆様にも女性参画の推進について、きちんとご理解していただけるようお願いしたいと考える。
委員	山形県弁護士会では、女性会員が非常に少なく全県で1割強しかいない。女性の推薦依頼が多いと、どうしても限られた女性会員の負担が重くなる傾向がある。様々な活動に積極的な女性会員も多く、これまではご要望をいただければ、ほぼ100%女性会員を推薦し

	ているが、今後要望が増えていくと対応できるかどうか。ご理解もいただきたい。
幹事	市から推薦を依頼する団体様によっては、女性会員がとても少ない組織もあるので、その実情と会員の方のご負担などを考慮いただいて、ご無理のない範囲でご協力を願いたい。
委員	なるべく頑張りたい。
委員	女性委員が増えるのは素晴らしいが、例えば、子育ての分野など女性が半分以上で、男性が1人しかいないような審議会もある。女性が入りやすい分野で女性を多めに増やせば良いのではなく、どの審議会も男女が平等にいるのが理想と思う。様々な審議会に参加していると、暗黙に男性と女性に役割分担されているように感じている。男性中心の審議会に女性が入っていくのは難しい場合もある。男女共同参画や子育ての分野こそ、一方に偏らず男性と女性が平等に意見を出し合い、理解を深めていくべきと思う。
委員	そうなるのが理想だが、まずは理想に向かって女性全体の比率を大きくすることを目標に頑張ってみよう、ということなのかと思う。
会長	資料のように、市の裁量の及ぶ部分は目標50%というように共通認識化することで、審議会によつての差も解消に向かうのではと思うが、事務局いかがか。
幹事	ご指摘の通り、委員比率にも性別役割分担の思い込みが大きく関係していると思う。まず市職員が、この分野は女性、この分野は男性という思い込みを無くし、委員のご推薦をお願いする際もフラットな視点で、市民の皆様に働きかけていけるようにしたい。
会長	それでは今後取組みに着手して進めるということで、来年度、結果等をいただきたい。報告(3)は以上でよろしいか。
委員一同	(了承)

(4) ウィメンズキャンパス山形の実施状況について (資料4)

資料に基づき庄司主査が説明。

(主な質疑等)

会長	ただ今の(4)報告について、ご質問・ご意見いかがか。
委員	12月6日発表会を、私も拝見した。短い期間で、これだけまとめて発表できるのは本当に素晴らしいと思った。先ほど、今年度に限らず、また何かの形で進めていきたいとお聞きしたが、何か構想みたいなものはあるのか。
幹事	先日、支援をいただいている資生堂ジャパンに考え方をご提示し良い評価をいただいた。1つ目は、今年度の参加者20名(以後、「1期生」)からの提案で、良いものは早期に取組みたいが、予算が必要なものは手順をふまえて実現していければと思う。良い提案がきちんと形になれば、参加者の成功体験だけでなく、市民共有の財産になる。2つ目は、新たな参加者を募集し2期生として、課題設定も見直しながら、1期生と同様のプログラムで、課題解決に向けた活動と提案・発表まで促していきたい。1期生には、経験や考え方を2期生にアドバイスするなどサポート的な役割も期待している。

資生堂では、他市やもっと良い社会貢献活動があれば投資したい意向があり、山形市に対し、支援が無くとも良い取組みを継続して自らの力で進める「自走化」を望んでいる。市としても同じ思いなので、市職員もファシリテートなど人材育成のノウハウを身につけ、1期生、2期生、3期生・・・の参加者、応援いただける方々と知恵や力を出し合い、みんなで協力し、この良い取組みを持続し、充実したものにしていきたい。有効な提案は新規事業として、市内外の関係団体や企業の皆さんと手を携えることで効果が高まるものは積極的に連携しながら、いろんな取組みを進めていければと思う。この事業の根底にある課題は、山形の多くの若い女性が、就職の際に地元から離れてしまうという現実であり、そこにフォーカスした取組みが、ウィメンズキャンパスの提案から生まれ、課題解決につながっていければと思う。

会長 昨年度までのフェアラ大学や県のチェリアなどで、様々な活動に若い人の参加が少ないと聞いてきた。これまで活動を推進してこられた方々には、経験・ノウハウの積み重ねがあり、山形にも女性活躍に熱心に取り組まれている企業やイクボスの方々などがある。そうした様々な方々や団体とつながり、連携することで、若い方々が面白くないから出ていくのではなく、地域づくりに参画して、自分たちで面白い地域にしていく、そういうまちづくりが定着し、自走していかれるよう是非ご期待したい。

それでは（４）についてよろしいか。

委員一同 （了承）

会長 それでは予定されていた報告は以上。座長を降りささせていただきたい。慎重なご審議をいただき、皆様からのご協力に感謝申し上げます。

議事終了後、次第にないが、今回の審議会が任期2年中最後であるため、事務局より委員の皆様へお礼を述べ、委員代表で井上会長より、ご挨拶をいただく。

#### 4 その他

事務局より謝礼の支払について説明

#### 5 閉会

五十嵐主幹